



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 320 号 2011.4.1 発行 社会政策研究所

たまにブログ 23 年 4 月 1 日の記事 23 年度がスタート

今日から 23 年度がスタート。

月初めの数字ネタ。23 にちなんだ話題を少しだけ。

「東京 23 区」は東京都の中核、大阪もこれに倣うのか。

膳場貴子さんがキャスターを務める「ニュース 23」は毎夜の楽しみ。

アメリカのプロバスケットボール (NBA) のマイケル・ジョーダンの背番号、シカゴ・ブルズ、マイアミ・ヒートで 23 番は永久欠番。同じく、日本のプロ野球阪神タイガースの背番号 23 は吉田義男の永久欠番。

西国 23 番札所は箕面の勝尾寺。不屈の精神「七転び八起き」のシンボルのダルマで有名。四国 23 番霊場は今年の朝ドラ「ウェルかめ」でおなじみ徳島美波町の医王山薬王寺。厄除けの寺。

文政 5 年 (西暦 1822 年) から続く京都の老舗櫛屋の「二十三や」は、唐からきた櫛 $10+9+4=23$ から二十三やとか。ほど良い重さと、通りのなめらかさが髪を傷めず使い込む。

ヒトの生殖細胞に含まれる染色体は 23 対。22 対の常染色体と 2 本の性を決定する染色体からなる。この 21 番染色体が 3 本あるために生ずるダウン症候群。多くの人が知的障害を伴う。

かもがわ出版「21 番目のやさしさに ~ダウン症のわたしから~」は、岩元綾さんの名著綾さん自身が述べている。

『ダウン症として生まれてきても、いつかきっと、

「生まれてきてくれてありがとう」「生まれてきてよかった」

と思えるようになる日がくると思っています。』

『21 番目の 1 本多い染色体にはやさしさと可能性が

いっぱい詰まっているんだよ』

その「21」のやさしさを、大災害で傷ついた「23」にも届けてほしい。【KB】

今年度もたまにブログもよろしく【kobi】

河北春秋

河北新報 2011 年 4 月 1 日

きょうの日をこんなふうを迎えるなんて、誰が思っただろう。入学、進級、就職…。たくさんの方の門出の喜びに満ちて、晴れやかに 4 月はやって来るはずだった▼あの 3.11 を消してしまえたら。今が全部うそだったなら。新年度の朝に何度も願ってみる。けれど、残酷な現実。不安を抱えて避難所で暮らす 10 代の声に胸が詰まる

▼「進学する高校と連絡が付かない。ちゃんと通えるのだろうか」と 15 歳男子。「進学

を諦めるかも」と15歳女子。「家が流された。進学希望だったけど無理かな」と17歳男子。「地元で就職先はあるだろうか」と17歳女子▼憂いを振り払い、懸命に前を向く子もいる。「高3になるから、無事だった教科書をかき集めて毎日勉強している」と17歳男子。「あまり好きでなかった学校だけど、今は行きたい。勉強したい」と14歳女子

▼災害時に役立つ人になりたい、困っている人を助けられる仕事に就きたい、介護職を目指す。被災の悲しみをバネに未来を描こうと歯を食いしばる子たちの声だ。なのに、非情にも増えていく新卒者の内定取り消しや自宅待機の知らせ▼廃業、休業に追い込まれた被災地の事業所にはいかんともしい難い苦悩がある。代わって差し伸べる支援を早く、強く。若者の存在は復興の原動力。夢を奪うわけにはいかない。

「情」に守られ通所者無事 住民が避難手助け



河北新報 2011年3月31日
津波で全壊した「まどか荒浜」施設長の中村さんは地元での再建を望んでいる = 29日、仙台市若林区荒浜

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた仙台市若林区荒浜地区に、通所者全員が無事だった授産施設がある。和菓子や和紙を製造する「まどか荒浜」。施設は津波にのみ込まれたが、地区住民にも助けられ、安全な場所に避難することができた。

社会福祉法人「円」が運営するまどか荒浜は、海岸から約1キロの場所に立つ。震災当日の11日は、軽度から中度の知的障

害がある通所者44人が作業に従事し、茶菓を提供するコーナーも営業していた。

地震発生から間もなく、職員10人が送迎バス3台と自家用車で通所者を近くの七郷小に避難させた。しかし、既に避難者であふれていたため、さらに約400メートル離れた七郷中体育館まで移動しなければならなかった。

職員によると、体育館に移る際、複数の住民が通所者の車いすを押したり、おぶって運んだりするのを手伝ってくれた。停電で真っ暗な夜間は、不安がる通所者を気遣って声をかける住民もいたという。

「いたわりや助け合いの心が息づく荒浜の住民に助けられた」と施設長の中村正利さん(78)。多くの住民が地区を離れている状態が続くが、「早く住民に感謝の気持ちを伝えたい」と願う。

通所者は全員無事だったが、女性職員1人が亡くなった。通所者を誘導後、連絡先を記した張り紙をしようと施設に戻った際に津波に巻き込まれてしまった。

平屋の施設も鉄骨だけを残して全壊。一部の通所者は現在、太白区の別の授産施設が受け入れているが、大半はガソリン不足で移動できず自宅待機中。施設の再建も含め、事業再開のめどは立っていない。

それでも、「住民と共に荒浜で再出発したい」と中村さん。人情に厚い地元での再建策を模索している。(武田俊郎)

障害者の相談内容など紛失 千葉県職員、個人情報も

産経新聞 2011年3月31日

千葉県は31日、障害福祉課の60代の男性職員が、障害者から寄せられた相談内容や個人情報記録したUSBメモリーを紛失したと発表した。

県によると、メモリーには、障害者の住所、名前、電話番号などのほか、相談内容やト

ラブルの相手方の名前など、38人分の個人データを記録。県が委託した相談ボランティア85人の個人情報も含まれていた。

職員は自宅で仕事をするため、29日に職場からメモリーを持ち出して紛失した。情報の持ち出しやコピーは禁じられており、県は「深くおわびし、あらためて情報管理を徹底する」としている。

被災地復興へ、補正予算検討チーム設置- 民主党

キャリアブレイン 2011年3月31日

東日本大震災で被災した地域の復興に向け、政府が4月にも2011年度補正予算を編成する方針を示している中、民主党は3月31日、予算編成に必要な項目の洗い出しを集中的に進めるための補正予算検討チームを設置した。応急対応として緊急的に必要な項目を盛り込んだ補正予算案を、4月末までに成立させたいとしている。

補正予算検討チームは、民主党の「東北太平洋沖地震災害復旧・復興検討委員会」(委員長=岡田克也幹事長)の下に設置された。座長は一川保夫参院議員、副座長は党の各部門会議の座長で、幹事は震災の被害が大きかった岩手や宮城、福島から選出された国会議員などが就いた。

この日開かれた検討チームの役員会議終了後、事務局長を務める大串博志衆院議員は、「菅首相や野田財務相の発言などで、(補正予算案を)4月中に提出していきたいという発言があったので、これに間に合うように全速力で作業していきたい。最終的な取りまとめに向けては、与野党協議を同時並行的に走らせていくことになる」と述べた。

検討チームでは来週中にも、予算を編成する上で各部門会議から緊急的に必要な項目を集約し、4月末までの補正予算案の成立を目指して取りまとめの議論を進めていく方針。

フレンチ・キス、支援ソング着うた配信!

産経新聞 2011年4月1日



フレンチ・キス、左から倉持明日香、柏木由紀、高城亜樹

AKB48から派生した3人組ユニット、フレンチ・キスが東日本大震災の復興支援ソングを制作したことが31日、分かった。4月27日から着うた配信される「君なら大丈夫」で、配信収益の一部を日本赤十字社を通じて被災地に寄付する。

同曲は5月11日に発売が決まった新曲「カッコ悪い I love you!」のカップリング曲。メンバーたったの希望で、歌詞には被災地への力強いメッセージを込められた。

柏木由紀(19)は「被災された方はもちろん、つらい思いをされているみなさんに『大丈夫だよ』という気持ちを伝えたい」。高城亜樹(19)は「1人でも多くの方に聴いていただいて、元気を充電してもらえれば」とコメントを寄せている。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行